

2月定例会常任委員会 の審査 令和3年度各会計予算等の審査

環境経済委員会

【委員長】藤田哲哉 【副委員長】井出晴美
【委員】小山忠之、太田康彦、笹川朝子、一条義浩、杉山諭、長谷川祐司

当初予算3件、条例1件

●動物愛護ボランティア団体へ有効な支援を

問 動物愛護ボランティア実態調査を行うとのことですが、調査内容や調査結果の活用方法は、どのように考えていますか。

答 本事業は、公共団体とボランティア団体を対象に、活動内容や収支の状況等の把握をするとともに、これまで認知されていない団体についての調査を行うものです。この調査結果を基に、動物愛護団体に対する最適な支援策を検討していきたいと考えています。

要望 動物愛護ボランティアは日々、献身的に活動しているため、調査結果を踏まえ有効な支援に結びつけてください。

●岳南富士岡駅のミニ鉄道パーク整備の概要は

問 観光推進事業費のうち、岳南富士岡駅観光スポット整備補助金を192万円余計上し、富士岡駅を整備する岳南電車株式会社の事業に対し2分の1を限度に補助するとのことですが、どのような整備を行いますか。

答 使用していない電気機関車の有効活用を図り、車両に上る階段や紹介パネルを設置するなど、ミニ鉄道パークの整備を行います。また、整備後は移動販売車の出店やガイドツアー等を岳南電車株式会社にて予定しています。



岳南富士岡駅にある活用予定の電気機関車

●野田山健康緑地公園一帯の整備計画は

問 野田山健康緑地公園整備事業費を195万円計上し、進入路安全防護柵設置等を行うとのことですが、進入路以外にも危険と思われる箇所があることから、野田山健康緑地公園へのアクセス道の安全対策を今後どのように行いますか。

答 進入路部分の安全防護柵や反射板等の設置は市の事業として行いますが、アクセス道の林道部分は県営改良事業として整備を行い、令和6年度の完成予定と伺っています。

●田子の浦港津波対策として行う第3波除堤の地盤改良工事の全体像は

問 田子の浦港津波対策事業費のうち、第3波除堤機能強化事業負担金を1億8000万円計上し、堤頭部地盤改良工事を行うとのことですが、これにより港の機能が損なわれることはありませんか。また、工事費や工程などの事業の全体像はどのようになっていますか。

答 航路上で工事を行うことから一定期間、不便をかけることが予想されますが、本事業による機能損失はないと考えています。また、全体の工事費は3億8000万円で、新年度は西側を、令和4年度は東側を全て市費で行います。

●富士山フロント工業団地 第2期整備事業完了後の工業用地供給の見通しは

問 富士山フロント工業団地第2期整備事業完了後の工業団地整備は、行政主導ではなく、民間事業者を主体としていくとのことですが、今後の工業用地供給の見通しを、どのように考えていますか。

答 市街化区域内の工業専用地域をはじめ、利用可能な土地や空き工場はまだあると考えており、小規模な用地の要望については引き続き紹介可能ですが、大規模な用地の要望については対応が難しいと考えています。

建設水道委員会

【委員長】萩田文仁 【副委員長】萩野基行
【委員】笠井浩、鈴木幸司、井上保、望月徹、稲葉寿利、下田良秀

当初予算6件、条例2件、その他3件

●富士駅北口周辺地区の再整備の内容は

問 まちなか拠点形成事業費を536万円余計上し、富士駅北口周辺地区まちなか空間活用調査を行うとのことですが、今後、富士駅北口周辺の整備をどのように進めていきますか。

答 再開発事業に合わせて車道や歩道の一部を広場化し、居心地がよく、歩きたくなる空間を形成するため、地元関係者とワークショップを行い、広場の活用方法を検討するほか、先進都市への視察を行うなど、機運の醸成を図っていきます。また、整備後は、オープンスペースを民間に提供するなど、官民連携による、まちなか空間の創出を考えています。



富士駅北口周辺地区の再整備後イメージ

●市街化調整区域における開発等の立地基準の見直しはできるか

問 他市と比べて市街化調整区域内における開発等の立地基準が厳しいとの声が聞かれますが、開発審査会で基準の見直しを行うことはできますか。

答 開発許可や建設許可に関し、30項目の立地基準を定めており、審査会で基準に基づき審査を行っています。本年度、工場等の立地について基準の見直しを行ったことから、実情に合わせた見直しを考えています。また、国や県の基準を参考に定めているため、他市との大きな違いはないと考えますが、項目に対する運用方法が市によって異なるため、審査基準に差が生じる場合も考えられます。

要望 観光関連等の企業を市外から呼び込むことは、人口や税収の増加につながるものと考えられるので、基準だけにとらわれず、様々な分野への影響を考慮した上で相対的に判断してください。

●老朽化した水道管の布設替えなどを重点的に行うための事業費をどう賄っていくか

問 配水設備等改良事業費の工事請負費を21億7985万円余計上し、老朽管布設替えや水道施設耐震化事業等を進めるとのことですが、重点的に実施していくために必要な事業費を今後どのように賄っていきますか。

答 料金改定だけで賄うと市民への負担が大きく、また、借入金だけで賄うと将来の費用負担が増大するため、料金改定と借入金の両方で収支のバランスを取っていききたいと考えています。

要望 料金改定は市民の負担が大きくなるため、十分な検討及び事前の周知により、市民の理解を得た上で行ってください。

●公共下水道事業における管路整備の目標は

問 下水道管路整備事業費を18億1090万円余計上し、今後数年間は同程度の予算額で事業を進めるとのことですが、今後の事業の見通しをどのように捉えていますか。

答 10年間で下水道管路整備をおおむね完了させる「10年概成」という国の方針が平成28年に示され、資金面での支援が手厚くなっていることから、令和8年を目標に整備を進めていきます。

●緊急安全措置として管理不全空家への直接的な対応が可能に

問 富士市空家等の適正な管理に関する条例の制定により、空家等対策特別措置法に規定する特定空家に該当しなくても、人へ危害が及ぶことを避けるため、管理不全空家への修繕等の緊急安全措置ができるとのことですが、管理不全空家の敷地内にある立木竹の伐採は可能ですか。

答 危険な立木竹に対しては、緊急安全措置として最小限度の切除など、直接的な対応が可能になります。

特集

2月定例会

常任委員会の審査

代表質問・一般質問

特別委員会・中間報告等

議会広報委員のページ

特集

2月定例会

常任委員会の審査

代表質問・一般質問

特別委員会・中間報告等

議会広報委員のページ